

グループワーク①「プレイヤーの役割・責務」

		あ	い	う
①市民活動団体等	活動団体	- 活動の発案と実行 - 活動報告 - 活動の目的を持って主体的に ○ 団体と向き合う(②③)	- 団体は団体のみの利益でなし、市民全体は市への利益になる活動をする - 特別な団体や個人に向けることなく、どの市民にも平等である活動であること	活動団体の協働会議(代表者会議)の開催 ○ 互いが納得できるまで話し合っ共有できるようにする→そのためのルールづくりが大切(①②③)
	情報・PR	- 事業者へのPR - 協働意思の発信 ○ 情報提供(②③)	- 積極的な情報発信を - 若年者への参加呼びかけ - 実績を公表する ○ 透明性の確保(①②)	- 情報、実勢の公開、共有 - 情報の提供(活動の)
	協働	- 協力 - その他を受け入れる	- 協働するうえで相手を理解する - 連絡不足、DV、児童虐待、介護について、もっと協働、参画が必要だと思う(初期の時に) - 共通意識をもつ	安城の町をより良い住みやすい町にしていけるためにお互いが協力しあう
	連携		活動団体の連携とコラボ ○ 目的と目標の共有(①②)	組織力の強化(カリスマではなく…)
	充実	日常活動から市民の公益へのニーズを汲む	- 知識、経験を活かすこと - 行政の事業を理解し、対等な話ができるようにする	- 自発的に。得意分野で - 熱いハート
	育成			次の世代の育成(外に向けた活動にしていけるためにも) ○ 協働コーディネーターの育成→市?、市民交流センター?(①②)
	その他	企画アイデア ○ コーディネーター能力(①②③)	- 守秘義務 - 介護者の心のケアができる機会、場所を - 公の資金を使う自覚と責任 ○ 評価の実施(①②)	つながりコーディネーター(的なこと、思考できる人)(①④)
②市	情報・PR	- 補助金、PRなど - 情報の発信 - 協働についての告知(PR)	- いろいろな団体の情報がほしい - たとえ小さな意見でも耳を傾け、前進的な方向づけができるように - 積極的に市民参加、協働をするように啓発する	情報の提供
	支援	- 活動支援 - 事業活動についての支援 行政→市民 - 法律的な指導助言 市→社協	- 市民活動への促進、支援 - 活動への支援(補助金助成金、人的・知的助成アピール宣伝協力) - 友好的な資金助成のしくみづくり	- 活動資金の支援 - 法的制備下支え
	育成		コーディネーター推進役としての成長	- 人材の育成 - 協働を実践できる職員の育成
	体制・仕組み		- 協働の仕組みづくり - 課等の組織横断的な調整 - 協働の環境の整備	- 人と人を繋ぐ体制づくり - 市は協働する体制づくりとして役割を明示する
	提供		- 協働の機会を増やす - 気楽に集まれる所、同じ思い提供できる場所	会議をするための場所の提供
	配慮		- 活動団体の意欲活動を妨げない - コミュニティに対する理解を配慮	広い心と共感
	充実		市民活動団体の考えを理解し対等な話ができるようにする	
	その他	- 各種法令を適切に適応する←やらない言い訳にしない - 行政の下請けにしない	平等に評価をし次へのステップ、方向づけと提示	- 推進計画 - お金、物、場所
	支援	- 補助金 - 相談支援	地域、市民活動への理解と支援(人、金)	市民活動への理解支援
	提供	本業でつちかったリソースを適切に提供する		CSRとして情報、支援、ヒトの提供
	貢献		- 地域の一員として貢献する - 地域、市民全体に貢献できるもので営利目的にしない	社会貢献

グループワーク①「プレイヤーの役割・責務」

		あ	い	う
③事業所	活動	・ 細部にわたる活動、事業仕分け 社協→市 ・ 企業努力	・ 中小企業もCSR活動を積極的にする	
	交流	・ 人と人を結び ・ 地域との交流から糸口を		
	その他		・ 自らの持つ資源を活かす ・ 要求に見合った適切な助言	・ 協働するもの同士がお互いに平等であり、相手の意見を尊重する
④地縁団体	参加		・ 地域への関心をかんきし、参加をうながす ・ 多様な住民の参加を活かした運営	
	利益		・ 町内会員全体で皆の利益になることを ・ 他町内会との連携をとり、しいては市全体、市民全体の利益になることを	
	活動 企画		・ 古くからのルールにしばられず積極的に活動団体を利用する ・ 地域に根ざした事業を考える	
	育成 貢献 連携		・ 協働に関する意識づけを教育の中でうえつける ・ 専門性を活かしてまちづくりに貢献 ・ 教育機関と地域の連携、地域伝統文化の継承	
⑤教育機関	提供		・ もっと内容をしぼった学集会を提供 ・ 育児中の母親の学級	
	交流	・ 実績例等について意見交換		・ 町内会・地域、よそ者への理解 ・ 学校、地域と連携して学習会の開催
⑥その他	活動		・ 自ら活動する勇気をもつ ・ 地域単位の活動から ・ 市民一人一人が考える ・ 自分ごととしてとらえる	・ 学校(授業が足りない部分など)勇気をもってさらけだす(助けを求める)
	その他			・ ネットワークを活かす ・ 町内会・市(行政)の窓口になるような役割を担う

グループワーク②「協働をすすめるうえで必要なものは？」

		あ	い	う
安城で「協働」を推進するために必要なもの 提案ベスト3	★1	P R	意識作り	人 つなぐ人
	★2	表彰（褒章）制度	協働提案事業	人 自立できる団体
	★3	団体育成につながるスキーム（道筋）の構築	お金	人 市の職員
アイデアフラッシュ～分類・整理			・ 協働の提案（行政より） 事業内容の提供と提案のしくみ ・ コーディネーター ・ 団体活動の情報の共有化 ・ 情報の一元化 ・ 意識啓発 ・ 人との付き合いがない ・ 一歩外へ出れない ・ 市の制度があるけど分かっていない、活用できない	・ 場所（公的） ・ 人 コーディネーター、パトロン ・ しくみ…団体にお金流れ込むような…推進計画・ルール ・ …団体の育成（自立した団体） ・ 情報 公開・共有（団体も市も）